



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 七井 真人

■ 知事との意見交換会 細岡会長発言

栃木県工業団地管理連絡協議会主催の「知事との意見交換会」が2月7日、宇都宮市内で開催されました。県内8工業団地代表者と福田富一知事はじめ県産業労働観光部長など県幹部職員が一堂に会し、栃木県の産業労働観光施策と県内各工業団地の状況などについて意見交換しました。芳工連からは細岡会長、富永副会長、事務局長七井が出席しました。

福田富一知事の卓話概要

■ 労働力確保の推進

産業人材確保が大きな課題なので、求人企業合同説明会開催、インターンシップフェア開催、企業と学生のマッチングを支援する「とちまる就活アプリ」活用、奨学金返還助成制度などで取り組みを強化しています。

全国に先駆けて運用している「とちまる就活アプリ」は1月18日現在970社登録、総ダウンロード数7,000件となっている。県内製造業就職者への支援制度である「とちぎ未来人材応援基金」は、製造業限定で上限150万円の奨学金返還助成の制度です。

■ 外国人受入れ拡大の対応

昨年12月にTPP発効、2月1日に日・EU経済連携協定発効、4月から特定技能による外国人労働者の受入れ拡大やインバウンドなど、国内外の経済環境が大きく変わることから、各部署の国際関連施策の情報を集約し全庁挙げて戦略的に取り組むよう国際戦略推進本部を設けます。

また、外国人材の適切な雇用に関する諸課題の解決を図り、情報共有のため「栃木外国人材活用促進協議会」を新年度に設置します。そして11言語対応の「多文化共生総合相談ワンストップセンター」設置、外国人雇用相談窓口の設置、外国人材交流コーディネーターを国際交流協議会に設置するなど受け入れ環境の整備に努めます。

■ オリンピック、とちぎ国体について

2020東京オリンピック、3年後の国体ですが、来年3月29日(日)、30日(月)に県内を聖火リレーが走ります。夏には選考委員会で聖火のコースを決定し、その後ランナーを選考します。

とちぎ国体は3年後ですが、今年の秋に武道館が完成、来年春にスタジアム完成、再来年は体育館、飛び込みプールが完成する予定です。



とちぎ国体は、冬季国体を3年後の1月、夏に水泳、秋に本番を迎えます。3年後は1年を通じた国体年となります。とちぎ国体に向けてスポーツ医科学センターを設置してドクターを配置します。

■ 少子化対策について

とちぎ結婚支援センターは、2年経過しましたが3,000名弱が登録し27組ゴール。903組が交際中とのことです。

■ 芳工連30周年に参加

工業団地との意見交換会への参加は、今年は足利工業団地と真岡工業団地への訪問を予定しています。また、今年は芳賀町工業団地連絡協議会の創立30周年記念式典がありますので、お邪魔してお祝いを申し上げたいと思います。



細岡会長が概要を説明

芳工連の細岡会長は、今年度実施した景況調査結果（芳工連だより第176号2月号掲載）に基づき、芳賀町の工業団地立地企業の景況等の実態、立地企業から寄せられた県への要望などについて次のように説明しました。

■ 景況感

景況は、今期（平成30年10月～12月期）は前年同期と同様、概ね好調な経済環境が続いている見方です。来期（平成31年1月～3月期）は好転の見方は減少し、不変や悪化と見る企業の割合が高くなり、先行きに慎重な見方が窺えます。



■ 設備投資

今期（平成30年10月～12月）設備投資を実施した企業の割合は、上向き景気実態を反映し「土地」や「建設機械」などの本格的な設備投資を積極的に行っている状況が把握できました。

来期（平成31年1月～3月）も今期（平成30年10月～12月期）同様に積極的な設備投資の計画が見えてきました。

■ 今期直面する経営上問題

18項目の中から選択いただき、一番多かった回答が「従業員の確保が難しい」、二番目は「熟練技術者の確保難」、三番目は「人件費の増加」を挙げていました。

■ 栃木県に対する要望

「LRT 工事に伴う交通渋滞対策として有効な情報の発信」、「工業団地周辺道路の交通渋滞解消の早期実現」、「宇都宮テクノ街道の完全4車線化の計画推進」、「人材確保支援の強化」などでした。

福田知事からの回答

- ① 人材不足については新年度予算の施策も含め対応していきます。



- ② 国道 408 号バイパスは暫定 2 車線で真岡から宇都宮まで供用中ですが、国道 123 号線から南は平成 33 年春には完全 4 車線で供用出来る予定です。清原工業団地を抜けた野高谷町交差点から宇都宮テクノ街道まで、今春には暫定 2 車線で開通します。
- ③ 宇都宮テクノ街道は宮環接続部（平出板戸工区）と芳賀工業団地接続部（大塚工区）は 4 車線で 3 月 10 日に開通する予定です。
- ④ 芳工連から要望あった「テクノ街道完全 4 車線化」は、開通後の状況を見て、次の段階で時期を探ることになると思います。
- ⑤ LRT 事業による交通渋滞を心配する声がありましたが、国道 408 号バイパス、宇都宮テクノ街道などは 2 年前倒して工事が順調に進みました。交通渋滞を起こさないよう工事は順調に進んだところです。
- ⑥ 宮環と宇都宮北道路の交差点立体化は、用地買収が遅れ工期が 2 年伸びて平成 34 年に完成する予定です。

■ 第 40 回ボウリング大会開催

総務企画部主催の第 40 回ボウリング大会は 2 月 13 日、宇都宮ゴールドレーンで開催しました。過去最高となる 14 社 80 名の参加がありました。

女性グループ 2 チーム、女性参加者 18 名はこれまでに最多数でした。

ボウリングピンの着ぐるみで盛り上げてくれたのは若者チームでした。このパフォーマンスで会場を笑いに包みました。各チームともストライクやスパアのたび歓声が沸き、和やかな雰囲気の中親睦が図られました。

優勝は、ハイスコアー 402 点（2 ゲーム）というハイレベルのメンバーを抱えた(株)ホンダテクノフォートの綾部、綾部、橋本、佐藤チーム（写真右上）でした。

準優勝は大星電機(株)の大久保、畠田、小村、濱砂チーム、3 位は(株)ショーワの加藤、木川、伊東、深田チームでした。

賞品の提供は、(株)ホンダテクノフォート様、AGC オートモーティブウインドウシステムズ(株)様、大星電機(株)様、(株)オートテックジャパン様、(株)協永堂印刷様、日本梱包運輸倉庫(株)様、(株)栗崎歯車製作所様、(株)ベストロジ栃木様、(株)サンクレール様、ホンダエンジニアリング(株)様、ホンダ開発(株)様、(株)ショーワ様、(株)今仙電機製作所様、エヌケイエンジニアリング(株)様でした。誠に有り難うございました。



■ 団管連研修会開催

団管連の事務担当者研修会が 2 月 26、県内 8 工業団地の事務担当職員 16 名の参加により芳賀町で開催されました。

研修は、訪問した工業団地の実情や所在する市町の文化、芸術に関する視察や体験などで視野を広げることを目的として開催されています。



女性職員を中心に、それぞれの伝統産業や特産品づくりなどを学ぶ機会にもなっています。芳賀町での開催は今回が初めてでした。

宇都宮市内から鬼怒通りで芳賀工業団地に入った皆さまは、芳賀工業団地周辺の交通渋滞の激しさに大変驚いていました。交通渋滞を体験したことで、芳賀工業団地の実情の一端を知る機会となったようです。

最初に「道の駅はが」体験室において、芳賀町の特産品として誇れる旬のイチゴを使ったケーキ作りを体験いただきました。

バター、卵、イチゴジャムを練り込んで型に流し込み、オーブンでふっくらと出来上がりました。綺麗にラッピングして自慢の手作りケーキを持ち帰りました。

芳賀温泉ロマンの湯で昼食を摂って、午後は本田技術研究所ブルーピンググラウンドの見学でした。参加された皆さまはテストコースの見学を大変期待されていたそうです。

本田技術研究所様には特別のご配慮をいただき、走行試験の合間にコースの隅々まで丁寧にご案内いただきました。テストコースの45度に傾斜したバンクは流石に怖くて登りきれませんでした。

私たちが乗車するバスのすぐ横のバンク最上部を、時速180kmのスピードで疾走するマシヤルカーの迫力にも感嘆の声が漏れました。

そのあと、芳賀町の観光情報について、町観光協会事務局の商工観光課佐藤貞仁主査からスポットをご説明いただきました。

芳賀町工業団地連絡協議会の変遷と実績等については事務局長七井がご説明しました。

参加された皆さまから、「貴重な体験や観光情報を得ることが出来て大満足です」との言葉を聞くことが出来ました。

施設見学でご協力いただいた(株)本田技術研究所 PG 管理室の皆さま、芳賀町商工観光課の皆さまに感謝とお礼を申し上げます。



芳工連日誌

【2月の実績】

- 5日 30周年記念事業部会
- 7日 知事との意見交換会
- 8日 30周年記念誌震災インタビュー
- 13日 第40回ボウリング大会
- 15日 30周年のぼり旗掲出開始
- 20日 30周年記念事業部会
- 26日 団管連事務担当者研修会
- 27日 安全衛生部会正副会長会議
- 27日 資源ごみ回収

【3月の予定】

- 4日 交通防犯部会
- 5日 環境整備部会
- 6日 安全衛生部会
- 7日 総務企画部会
- 8日 30周年記念誌発行部会
- 13日 優良事業所施設研修会
- 15日 団管連第4回幹事会
- 19日 30周年記念事業実行委員会
- 19日 第4回役員会
- 27日 資源ごみ回収